

最近の肝炎治療薬について

大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部

C型肝炎治療薬

インターフェロン治療

（日本でのほとんどC型肝炎に治療適応あり）

週1回のインターフェロン注射

+

内服薬 （成分名：リバビリン）

+

〔 内服薬 （プロテアーゼ阻害薬） 〕

C型肝炎治療薬

インターフェロン治療の副作用

インフルエンザ様症状

（発熱・関節痛・頭痛など）

食欲不振・皮疹・脱毛

うつ症状・間質性肺炎

糖尿病・心臓病の悪化

網膜症

血球減少（白血球・赤血球・血小板の減少）

C型肝炎治療薬

インターフェロン



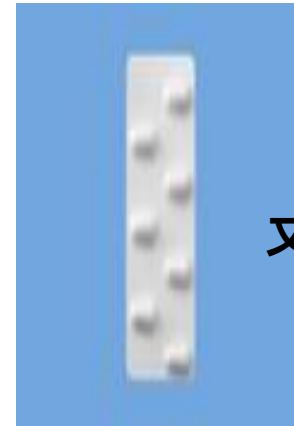
+

リバビリン



+

(プロテアーゼ阻害薬)



又は



+

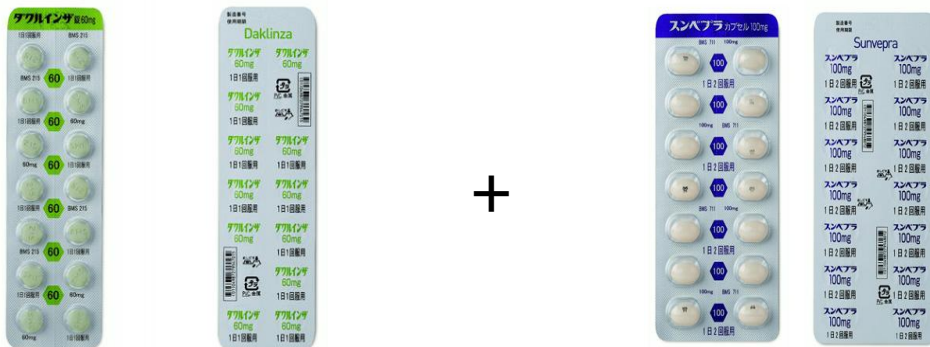


+



C型肝炎治療薬

内服薬治療（24週間）



ダクルインザ
1日1回1錠

スベプラ
1日2回、1回1cp

副作用：肝機能障害、咽頭痛、発熱、皮疹

B型肝炎治療薬

内服治療薬(核酸アナログ製剤)

バラクルード(空腹時内服)



テノゼット



ゼフィックス

ヘプセラ

耐性が出ないように2種類併用することもあります。

インターフェロン治療

肝炎治療薬の注意点

どの治療を選択するかは、肝炎の状態によって異なります。主治医とよく相談をしてください。

治療方針によって内服方法が異なります。

（空腹時内服、食後内服、内服期間の違うものなど）

治療効果を最大限発揮させるためにも飲み忘れ・飲み間違いのないようにしましょう。

また、治療薬と飲み合わせの悪いお薬が多種存在します。それは治療薬によって異なります。

お薬手帳を携帯し、医療者に必ず確認をしてもらってください。